

産業建設常任委員会

日 時 令和 2 年 3 月 1 6 日 (月) 午後 時 ~

場 所 第 2 委員会室

1 開議

2 行政報告

(1) 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想について

(まちづくり推進部)

令和2年3月議会
産業建設常任委員会

～ 行政報告資料 ～

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想（案）

に対するパブリックコメントの結果報告

【まちづくり推進部】

意見募集結果公表資料

案件名	亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想(案)	公表日	月 日
意見募集期間	令和2年2月25日～令和2年3月13日	意見数	1件
意見の要旨		亀岡市の考え方	
<p>現在、地元で組織している亀岡駅南地区街づくり事業の会が中心となり、駅前の再開発事業なども視野に入れた、将来を見据えたまちづくりの検討を進めている。</p> <p>今回策定の「亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想」においては、エントランスエリアの都市再生として、公共空間の高質化・景観整備によるエリア全体の魅力向上から民有地の一層の活用促進を図るとされていることから、今後の方向性として、地域住民や事業者、行政が一体となって取り組みの方策を検討していく必要性を構想に盛り込めないか。</p>	<p>本構想は、亀岡駅周辺の幹線道路を中心とした本市の顔となる拠点づくりや、古くから城下町として発展してきた歴史的環境の保全整備に一体的に取り組むための整備方針(ランドデザイン)として位置付けています。</p> <p>今後は、ご意見のとおり、本構想を基に地域住民の皆さんや事業者等にも参画いただきながら、これからの駅南のまちづくりについて、具体的な取り組みの方策などについて検討していきたいと考えていますので、「エントランスエリア全体のにぎわい創出」についての内容を一部修正します。</p>		
以下余白	以下余白		

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想（案） 新旧対照表

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想 （案）【P21】	亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想 （修正案）【P21】
<p>2) 亀岡駅南 駅前通り・エントランスエリア全体のにぎわい創出</p> <p>亀岡駅南駅前通りは、橋上駅舎の自由通路「のどかめロード」から視認でき街の印象を左右する位置といえますが、中央帯の植栽や照明柱が駅前から城址方面への通景（ビスタ）を妨げており、駅と城下町エリアの連続性・シンボル性が欠けているといえます。</p> <p>これらの状況を踏まえ、幅員22mの駅前通りの高質空間化・景観整備を進め、歩きやすい歩道の整備や電線類地中化を通して、亀岡市の玄関口にふさわしい街路景観づくりを検討します。それにより、駅南駅前広場から駅前通り～光秀広場に至る駅南のシンボルロード、さらには駅北を含めた駅南北の新たな亀岡のシンボル軸となることを目指します。</p> <p>駅前通りの空地（青空駐車場）については、都市再生として、公共空間の高質化・景観整備に合わせた活用促進を誘導し、まちなみ形成を図ります。新たに建築される建物や看板、サイン、色彩などについては、沿道関係者との調整等により検討されるものですが、公共空間の設えや隣接する建物との統一感、調和に配慮したルールとすることで、公共空間と民有地が一体となった全体として高質な空間形成を目指します。</p> <p>建物低層部には、店舗（物販・飲食系）を誘導することで、本市の玄関口にふさわしい土地利用と歩行者空間へのにぎわいのにじみ出しを促進します。</p> <p>亀岡駅エントランスエリア全体においては、公共空間の高質化・景観整備によるエリア一体の魅力向上から民有地の一層の活用促進を図るとともに、駅前から南郷公園、城下町をつなぐ動線整備や、観光ニーズにも対応したにぎわいのあるまちづくりを進めることで、回遊性の向上や中心市街地の再活性化につなげます。</p>	<p>2) 亀岡駅南 駅前通り・エントランスエリア全体のにぎわい創出</p> <p>駅前通りは、橋上駅舎の自由通路「のどかめロード」から視認でき街の印象を左右する位置といえますが、中央帯の植栽や照明柱が駅前から城址方面への通景（ビスタ）を妨げており、駅と城下町エリアの連続性・シンボル性が欠けているといえます。また、通りの沿道では青空駐車場等の空き地や空き店舗なども多く、まちなみとにぎわいの連続性が途切れるなどの課題もあります。</p> <p>これらの景観やまちづくりの課題を踏まえ、駅前広場から駅前通り～光秀広場に至る駅南のシンボルロードとして、歩道の拡幅・修景や電線類地中化などによる魅力的な都市空間の創出を図りながら、まちのにぎわいを演出していくことで、隣接する民有地の活用促進を誘導していきます。</p> <p>亀岡駅エントランスエリア全体においては、歩道拡幅等の整備により歩行者にとって歩きやすく、居心地の良い駅前空間を積極的に創出していくことで、駅前から南郷公園、城下町をつなぐ動線整備や、観光ニーズにも対応したにぎわいのあるまちづくりと回遊性の向上につなげていきます。また、これらの取り組みとともに、エリア内の低未利用地の活用を促していくため、中心市街地の活性化に向けたまちづくりを民間活力等の導入も検討しながら、官民一体となって進めていくことで、活気とにぎわいに溢れるエントランスエリアを目指します。</p>